



なぜ国会等移転(首都機能移転)が必要なのですか?

現在の日本は、国民が将来に不安を抱き明るい未来を夢見ることができない状況になっています。国会等移転は、その原因となっている現在の社会システムを改善し、日本を安全で快適な国、持続的に発展していける国にしようとするものです。

国会等移転の必要性や意義については様々な言われ方をしていますが、大きく次の3つにまとめることができます。



AI

重要

① 国政全般の改革

国会等移転をきっかけとして、地方分権や行政改革、規制緩和などの諸改革を進め、効率的で無駄のない社会システムを創る。

② 東京一極集中の是正

国会等を移転することによって、人・もの・情報などの様々なものが東京だけに集まるしくみを改め、日本全体をバランス良く発展させる。

③ 災害対応力の強化

大規模地震などの災害が発生した場合でも、政治行政の中心と経済の中心が同時に被害を受けることがないようにすることによって、日本を災害に強い国にする。

●国会等に移転しなくても諸改革を進めることはできるという意見もありますが、なかなか改革が進まないのが現状です。「百年経済を待つ」ことにならないように、必要な改革を確実に進めるためには大きな「きっかけ」が必要です。

●東京に様々なものを集中させることによるメリットを主張する意見もありますが、「過ぎたるは及ばざるが如し」の言葉もあるように、現在の東京は交通渋滞などの集中し過ぎることによるデメリットの方がはるかに大きくなっています。

●日本は地震国です。「転はめ先の杖」の言葉とおり、万一の場合に備えて、国を動かす機能全部が動かなくなる事態を招かないようにしておく必要があります。

栃木県をはじめとする北東地域(栃木県・福島県・茨城県・宮城県・山形県)では、国会等移転には、このような3つの意義に加えて、第4の意義があることを訴えています。

重要

第④の意義

国会等移転によってつくられる新都市を、地球環境問題や大都市問題などの、現在世界が直面する困難な問題の解決に向けた道筋を具体的に示すモデル都市として創り上げ、その都市づくりの考え方や技術情報、ノウハウなどを世界に発信していくことによって、「環境」、「文化」、「平和」の面で積極的に国際社会に貢献する。



現在、国会等移転先候補地は3ヶ所あります。「栃木・福島地域」「岐阜・愛知地域」そして「三重・畿央地域」です。
それぞれの移転先候補地の位置関係は、下の地図のようになっています。



移転先三候補地位置図



もっせとわすく！

国会等移転審議会より対象地域として10地域が選ばれ、16項目(小項目も含めれば18項目)におよぶ総合評価を行いました。その結果、平成11年12月にはその中から3ヶ所の移転先候補地の答申がありました。
その候補地が「栃木・福島地域」「岐阜・愛知地域」で、条件付きで「三重・畿央地域」が選定されています。